

60th anniversary



# JR越美北線

いま むかし

## 今昔

過去  
KAKO

未来  
MIRAI

JR越美北線は今年の12月15日で  
還暦を迎えます。本連載では越美北  
線のおゆみを振り返ります。

### 越美北線開業 60周年記念

### 第1回 越美北線の今

これまでのあゆみを振り返る前に、まずは越美北線の現状を見ていきましょう。市内ではいったいどれだけの人が乗車しているのでしょうか。

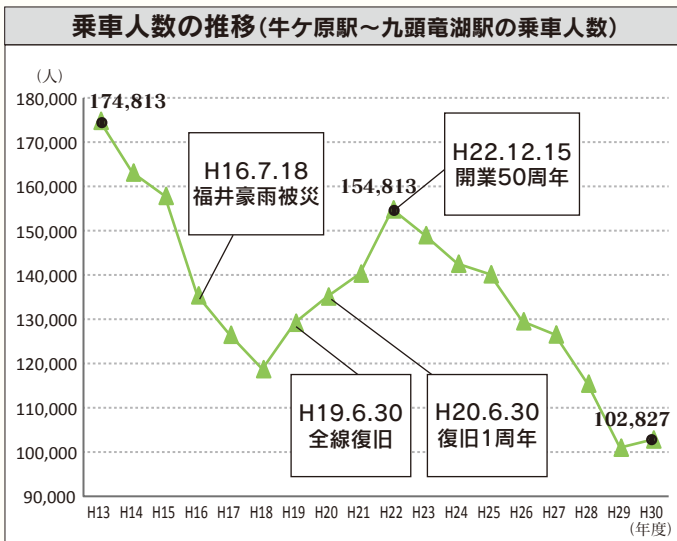
#### 市内乗車人数の推移

快速列車は平成13年3月3日に廃止されましたが、それでもなお平成13年度には年間17万4813人の乗車がありました。平成16年7月には福井豪雨で被災し、存続が危ぶまれたものの、3年後の平成19年度には無事全線復旧し、平成20年度には被災時と同程度の13万人台まで乗車人数が回復しました。

しかし、その後は開業50周年を迎えた平成22年度の15万4813人をピークに再び減り続け、平成30年度の乗車人数は年間10万2827人と、ここ10年間で5万人以上減少しています。

現在越美北線は、主に市外への通勤・通学手段、高齢者の生活の足として親しまれていますが、将来にわたって維持していくためには、利用促進が大きな課題です。

乗車人数の推移(牛ヶ原駅～九頭竜湖駅の乗車人数)



♪線路は続けよ  
いつまでも・・・

60th anniversary



## 越美北線開業 60周年記念

## 第2回 開業までの軌跡

——まぼろしの「越美線」 越美北線は、福井県から岐阜県の大正時代から計画されていました。大正12年には、すでに敷設されていた「越美南線」(現在の長良川鉄道)との接続を目指して岐阜県大正濃までの測量に着手しましたが、接続が実現することはありませんでした。

——戦争に翻弄された越美北線 昭和9年には関係する自治体が越美北線敷設促進期成同盟会を組織して工事を開始したものの、昭和12年の日中戦争勃発の影響で昭和13年末に工事は中止、その後太平洋戦争が激化し、ついに工事の槌音は長らく消えてしまいました。

——住民の願いが開通を後押し 終戦を迎えてもなお地元住民の全線開通への願いは強く、昭和25年に再び同盟会を発足、住民一丸となって工事再開を国などへ陳情し、いったんは着工寸前までこぎつけたものの、衆議院の解散によりまたもや計画が頓挫してしまいました。

昭和31年7月ようやく本格的な工事が再開され、

# JR越美北線

いま むかし

今昔

← 過去 | 未来 →

KAKO

MIRAI

♪線路は続けよ  
いつまでも。。。

JR越美北線は今年の12月15日で  
還暦を迎えます。本連載では越美北  
線のあゆみを振り返ります。



開通を祝う市民と祝賀列車

大野盆地へ入る花山峠のトンネル、足羽川、九頭竜川を跨ぐ鉄橋が次々と完成し、ついに昭和35年12月15日、福井—大野—勝原間約45\*の開通の日を迎えました。

——住民挙げての祝賀行事 市では12月12日から6日間にわたり開通を祝う行事を行いました。小中学生が描いた鉄道の図画や鉄道写真、機関車の模型、切符、記念切手などが展示されたほか、NHKの全国放送番組「軽音楽ホール」の公開録音が行われたり、前夜祭として「のびゆく鉄道」や「日本の動脈」などの映画が上映されたりするなど、市内はお祝いムードに包まれました。

60th anniversary



## JR越美北線



JR越美北線は今年の12月15日で還暦を迎えます。本連載では越美北線のあゆみを振り返ります。

### 越美北線開業 60周年記念

第3回

### 三八豪雪が区間延長のきっかけに

♪線路は続けよ  
いつまでも・・・

#### ●三八豪雪との闘い

越美北線が開業した昭和35年から3年後の昭和38年、正月から降り続いた雪はやむことなく積もり、2月4日には最深積雪量288㌢を記録しました。

この間、各種交通機関が完全にストップしてしまい、本市は約1カ月の間「陸の孤島」と化してしまいます。

越美北線には、ロータリー車、ラッセル車が投入されたほか、自衛隊員250人に加え、国鉄や市の職員、民間人合わせて約



三八豪雪時の五番通りの様子  
(提供：伊藤武夫さん)

1000人が除雪作業にあたり、2月13日ようやく福井一大野間を開通させることができました。当時の終着駅である勝原駅まで開通したのは3月4日のことでした。

この三八豪雪で和泉村が孤立したことも一つのきっかけとなり、勝原から朝日までの延伸工事が始まり、昭和47年12月15日に勝原―九頭竜湖間が開通。ここでようやく現在の越美北線の姿ができていきます。



越前大野駅付近の線路を除雪する消防団員  
(提供：市消防本部)

60th anniversary



## JR越美北線



JR越美北線は今年の12月15日で還暦を迎えます。本連載では越美北線のあゆみを振り返ります。

越美北線開業  
60周年記念

### 第4回 国鉄改革と越美北線

♪線路は続けよ  
いつまでも。。

#### ●突然訪れた廃線の危機

自家用車の普及や高速道路の整備に伴い、旅客輸送や貨物輸送における鉄道利用が著しく減少していったことが原因となり、昭和39年以降、国鉄は巨額の赤字に悩まされていました。

このような国鉄の経営状況悪化に対処するため、国は昭和44年以降、4次にわたって再建対策を講じました。中でも、昭和54年度から実施された第4次再建対策では、昭和55年に「日本国有鉄道経営再建促進特別措置法」(国鉄再建法)が制定され、越美北線・越美南線の両路線は廃線候補に挙げられてしまいました。

このことは、昭和53年に越美北線の九頭竜湖駅～越美南線(現在の長良川鉄道)の北濃駅間の建設が予定線から工事線に格上げされたことで、「越美線全線開通」実現に期待を寄せていた沿線住民に大きな衝撃を与えました。

#### ●沿線住民一丸となって利用を促進

越美北線が廃線の岐路に立たされるなかで、昭和56年5月に「越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会」が結成されました。この会には沿線の大野市、福井市、美山町(現福井市)、和泉村(現大野市)が参画し、越美北線が廃線にならないように、沿線住民へ利用を呼び掛けるなどの存続運動を展開しました。

60th anniversary



## JR越美北線



JR越美北線は今年の12月15日で還暦を迎えます。本連載では越美北線のあゆみを振り返ります。

### 越美北線開業 60周年記念

### 第5回 廃線の危機を乗り越えて

♪線路は続けよ  
いつまでも

#### ●廃線の危機から存続へ

廃線候補に挙げられてしまった越美北線でしたが、廃線対象から除外されるための条件が一つだけありました。それは「鉄道の代わりとなる道路が積雪などのため年間10日を超えて不通であること」というものでした。

この条件に当てはまるとし、越美北線の存続を願った県や沿線の市町村が陳情を重ねた結果、地元選出国会議員の尽力もあり、要望が受け入れられることになりました。

その後、昭和57年11月に国鉄が廃止対象となる赤字ローカル線33路線を決定しましたが、その中に越美北線は含まれておらず、正式に存続が決まったのです。



昭和56年の越前大野駅の様子  
(提供：大野商工会議所)

#### ●今なお続く利用促進活動

さまざまな困難を乗り越え存続している越美北線ですが、生活様式の変化や少子化・高齢化などの影響で利用者が年々減少し、非常に厳しい状況にあります。

そのような中で、利用促進団体である「越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会」は、越美北線やバスを利用したイベントや啓発活動を毎年開催。公共交通を普段から利用しない人にも利用してもらえるような機会を提供したり、駅や線路周辺の美化活動を支援したりすることで、さらなる利用促進に取り組んでいます。

皆さんもこのようなイベントや活動に参加して、越美北線や公共交通の未来を考えてみませんか。



越前大野駅前の  
花壇美化活動の様子

60th anniversary



## JR越美北線



JR越美北線は今年の12月15日で還暦を迎えます。本連載では越美北線のおゆみを振り返ります。

### 越美北線開業 60周年記念

### 第6回 国鉄からJRへ

♪線路は続けよ  
いつまでも。。

#### ●JR西日本の誕生

昭和62年4月に日本国有鉄道(国鉄)が分割民営化され、越美北線は西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)が継承しました。

一方、越美線の全線開通を目指し運動を展開していた国鉄越美線全通対策同盟会は、国鉄改革により全線開通の達成が極めて困難になったとの結論に至り、同年3月末で解散となりました。

#### ●管内初の鉄道部を設置

ローカル線の活性化や地域に密着した鉄道づくりに取り組むため、JR西日本に鉄道部制が導入され、平成2年6月には越前大野鉄道部が設置されました。これは、JR西日本金沢支社管内で初めてのことでした。また、この頃から車掌が乗車しない、運転士1人によるワンマン運転が開始されました。

#### ●SLや快速列車を運行

平成3年7月には、観光キャンペーンとしてSL「奥越メルヘン号」が運行されました。煙を吐きながら走るその姿は、大勢の沿線住民や鉄道ファンを楽しませました。

また、昭和55年10月から平成9年1月までは、ゴールデンウィークといった繁忙期や週末などに臨時快速列車「おくえつ号」が、平成4年から13年までは、福井方面へ通勤する人たちの利便性を図るための快速列車が運行されました。



平成4年ごろの越美北線

60th anniversary



## JR越美北線

いま むかし

今昔

← 未来

MIRAI

→ 過去

KAKO

JR越美北線は今年の12月15日で還暦を迎えます。本連載では越美北線のおゆみを振り返ります。

### 越美北線開業 60周年記念

### 第7回 越美北線を襲った福井豪雨

♪線路は続けよ  
いつまでも。。

#### ●橋やレールが流される

平成16年7月18日。県内嶺北地方はかつて経験したことのない猛烈な雨に見舞われました。足羽川堤防が決壊するなど、福井豪雨のすさまじさを物語る光景がいたるところで見られました。

本市でも住宅の浸水や水田冠水が発生しましたが、市民に大きな衝撃を与えたのは越美北線への甚大な被害でした。

足羽川に架かる7本の鉄橋のうち5本が流されたほか、レールや枕木の基礎となる部分が19カ所で流失するなど、壊滅的な被害が生じたのです。被害状況を目の当たりにした市民の中には、復旧にどれだけの時間を要するのか不安に思った人もいたのではないのでしょうか。

#### ●代行バスで通勤通学の足を確保

豪雨発生翌日は全線運休となりましたが、通勤や通学の足を確保するため、豪雨発生から2日後には越前大野・九頭竜湖間が始発から運行を再開し、越前大野・福井間はバスによる代行輸送が始まりました。

その後、沿線市町村や県が越美北線の全線復旧と被害の少なかった区間の運転再開をJRに要請した結果、福井豪雨から55日ぶりとなる9月11日に福井・一乗谷間、美山・越前大野間の鉄道運行が再開され、美山・越前東郷間は代行バスが運行されることとなりました。

#### ●県とJRが復旧へ向けて基本合意

深刻な被害を受けた一乗谷・美山間の復旧には、今後の豪雨被害を防ぐための足羽川の河川改修が必要でした。

県とJRが協議を重ねた結果、平成17年2月16日には復旧に向けた基本合意を締結し、互いに協力して取り組むことなどを確認しました。



豪雨被害を受けた鉄橋

60th anniversary



## JR越美北線



JR越美北線は今年の12月15日で還暦を迎えます。本連載では越美北線のおゆみを振り返ります。

越美北線開業  
60周年記念

第8回 3年ぶりの全線復旧

♪線路は続けよ  
いつまでも。。

### ●着々と進む復旧工事

平成17年6月27日、JR西日本金沢支社と県が越美北線復旧の基本協定を締結すると、10月17日に復旧工事が開始されました。福井豪雨から1年3カ月が経過していました。途中、平成18年豪雪に見舞われるなどの困難もありましたが、工事は順調に進んでいきました。

### ●復旧に向けた利用促進

工事が着々と進む一方、美山ー越前東郷間の代行バス運行により乗車時間が長くなったことなどが原因で、被災前に比べ越美北線の利用者は大きく減少していました。

復旧に向けて利用者を取り戻そうと、市やJR越前大野鉄道部は、街頭啓発キャンペーンや越美北線利用促進大会の開催など、さまざまな施策を打ち出しました。

全線復旧が間近に迫ると、沿線各地で花の植栽活動が行われたり、「越美北線盛り上げ隊」が発足したりするなど、沿線住民全体で復旧を盛り上げる動きが活発になっ

ていきました。

### ●復旧を喜び合う住民たち

平成19年6月30日、ついに全線が復旧し、約3年ぶりとなる全線運転の再開に、大勢の沿線住民や鉄道ファンが喜び合う姿が見られました。

当日は、出発式が美山駅と越前大野駅で、全線復旧記念式典が学びの里「めいりん」でそれぞれ開催されたほか、クリーム色と赤色の旧国鉄色に塗られた、全国でも希少となっていた「キハ28」「キハ58」による記念列車「おくえつ号」が運行されました。どの会場にも運転再開を待ち望んでいた多くの市民が詰め掛けました。



記念列車「おくえつ号」



60th anniversary



## JR越美北線



JR越美北線は今年の12月15日で還暦を迎えます。本連載では越美北線のおゆみを振り返ります。

### 越美北線開業 60周年記念

第9回 元越前大野鉄道部長 山本良一さんに聞く  
～平成16年7月の福井豪雨を振り返って～

♪線路は続けよ  
いつまでも・・・



山本良一さん

#### ●あの日記憶

海の日三連休で、150ミリの降雨予報が出ており、異常事態の発生に備えていたものの、あれほどの豪雨になるとは予想していませんでした。

豪雨で代行バスが身動きできなくなり、乗務していたJR社員がお客様と共に防災ヘリで救助されるなか、その社員から「上空から見ると、鉄橋が流されて無くなっている」との連絡を受けました。足羽川付近まで行き現地を確認しましたが、濁流で水没している線路と美山駅を見て、頭が真っ白になったことを覚えています。

#### ●復旧に向けて

日々変わる道路状況に合わせた代行バスのダイヤ設定

や列車への接続に苦労しました。

また、落ち込んだ鉄道利用を促進するため、沿線施設の協力も得て、大阪方面をターゲットにした旅行プランなどを企画しました。

JR西日本のローカル線区活性化第1弾として誕生した越前大野鉄道部は、設立以来、沿線の住民から絶大な支援を受けていました。

災害後も、大野市の皆さんと一緒に線路沿いに植栽活動などをしましたが、全線復旧することを信じて懸命に作業される皆さんの姿に、私たちJR社員も励まされました。

#### ●沿線市民の皆さんへのメッセージ

どこのローカル線も沿線人口の減少と利用低迷に歯止めがかかっていません。JR、沿線市、そして利用者の皆さんで、越美北線の将来について話し合っていくことが求められていると思います。

60th anniversary



## JR越美北線



JR越美北線は12月15日に還暦を迎えます。本連載では越美北線のあゆみを振り返ります。

♪線路は続けよ  
いつまでも・・・

### 越美北線開業 60周年記念

### 第10回 平成30年の豪雪でも活躍

#### ●記憶に新しい平成30年の豪雪

平成30年2月、県内は嶺北を中心に大雪に見舞われました。この豪雪によりJRなどの公共交通機関が運休したほか、道路の混乱によりスーパーなどで食料品が品薄になるなど、市民生活に大きな影響を与えました。



線路除雪の様子

#### ●国道が通行止めに

越美北線は、2月6日から越前大野ー福井駅間が14日間、越前大野ー九頭竜湖駅間が17日間終日運休となりましたが、23日の始発から全線で運転を再開しました。

豪雪を乗り越えたと思われた3月8日、国道158号の佛御前滝洞門スノーシェッド付近で大規模な雪崩が発生

しました。この雪崩によりスノーシェッドの一部が破損したため、大野市街地から和泉地区への車での往来ができなくなりました。通行止めが長期化する恐れがあったことから、JR西日本は3月10日から1日4本の臨時列車を運行しました。

大野市街地から和泉小中学校へ通う先生たちは、始発列車を利用することで学校の始業時間を遅らせることなく通勤することができました。また、和泉小中学校の給食の材料も越美北線で運搬され、子どもたちの大好きな給食を守ることができました。

豪雪による混乱の裏側では、越美北線の知られざる活躍があったのです。



雪崩に巻き込まれた  
スノーシェッド

60th anniversary



## JR越美北線



JR越美北線は令和2年12月15日に還暦を迎えました。これからも越美北線をよろしくお祈いします！

♪線路は続けよ  
いつまでも

### 越美北線開業 60周年記念

### 最終回 沿線住民に聞く ～私にとっての越美北線～

今回は、越美北線の開通から現在を知る後藤久美子さん(福井市在住)に、越美北線の思い出を聞きました。

#### ●越美北線開業60周年おめでとう

あの日が春だったか、秋だったか、はっきり覚えていません。

越美北線開通の日を迎え、東郷小学校のお兄さんお姉さんと私たち園児は、2列に並んで東郷駅に向かい、ホームで汽車が入ってくるのをわくわくしながら待っていました。何度も何度もホームから顔を出しては、先生に注意され、それでも気になりまた顔を出し…とても長い時間待ったように感じました。

その頃の私は、汽車その物を見ることもなく過ごしてましたから、まして近くを走るとなると新鮮で大変貴重な経験でした。汽車が見えてくると、皆一斉に国旗を振り喜び合いました。住民にとっては、長い間待ち続けた念願の日となりました。

私はあの日から60年、越美北線と共に過ごすこととなりました。通勤、通学はもとより、朝は6時のカンカンで起き1日が始まります。田に出た時は、11時の汽車が上がった、5時の汽車が下がったとか、汽車のない生活は考えられなくなっていました。汽車が走る、それだけでも幸せな時間を過ごしていました。

平成16年にこの地を襲った豪雨。線路は至る所で壊され、鉄橋が五つ流されるという悲劇が起こったのです。これで終わりだと誰もが思い、越美北線との別れを意識しました。

ところがびっくり。5年以上かかると言われた工事は、3年待たずに開通し汽車は走った…沿線住民は奇跡を喜び、ありがたさを感じました。

ところが乗車人数が年々減りつつある現在。とても残念なことです。

皆さんも、一度子や孫と乗ってみませんか。沿線の景色に季節を感じながら。楽しいですよ。